

議長の一言



佐藤 峯夫

今の地方自治の一番の欠陥は議会か、機能不全で、住民も議会を軽視していることがある。

それ故、議会の果たすべき事項は、

- 一、チェック機能
 - 一、政策立案機能
 - 一、行政に説明責任を問う機能
- 一人一人の議員が議会は行政をチェックし、最終決定権を持つとの責任と自覚を深めることで、三つの機能が生きてくるのではないだろうか。

二つの特別委員会を設置

仙北市に限らず多くの自治体は、行政改革を求められている。また、角館、田沢湖、二つの病院の経営状況が今後益々厳しくなると予想されることから、議会も取り組む体制が必要として次の特別委員会を設置した。

行政改革特別委員会

- 委員長 田口勝次
- 副委員長 大石温基
- 委員 佐藤直樹、黒沢龍己、門脇健郎、浦山敏雄、青柳宗五郎、八柳良太郎、真崎寿浩、藤原方正、平岡均

市立病院経営に関する特別委員会

- 委員長 田口喜義
- 副委員長 戸澤清
- 委員 田口寿宜、小田嶋忠、安藤武、小林幸悦、藤原助一、澤田信男、浅利則夫、佐藤宗善、高久昭二

田口勝次議員が行政改革特別委員長に選任されたことにより、県立高校統合問題調査特別委員長を辞任した。同特別委員会を開催し、互選の結果、委員長に佐藤宗善議員が選任された。

編集後記

西木町のかたくり、田沢湖のミズバショウ、角館町の桜、この三大名花が一番の見頃を迎える頃に

「議会だより」が皆様のお手元に届くと思います。

暖冬異変と叫ばれて、今年の花見も例年より相当早いのではないかと言われ続けてきました。

しかし自然の歴史の法則はうまくできているものだと感ぜざるを得ません。

結果的には例年とそんなに違いのない時期に「態勢」に入り、次に「備」えているのでしよう。

議会だより第六号は平成十九年度二月議会で議論された事の中身をまとめたものです。

市の広報と見比べて読んでみる必要があります。

「議会だより」広報委員会に対する市民の皆様「声」を心からお待ち申し上げる次第であります。

